



生産者のひとこと

私たちは花きの生産を行っており、栽培規模は、ハウスが約1800坪、露地面積が約600坪あります。年間で、鉢物やポット類を合わせて約20品目、約75万鉢を生産しています。フラワーセンターを中心に、南は広島、北は盛岡など約30の市場に出荷しています。今後も、消費者の皆さんに喜んでもらえるように一生懸命頑張っていきたいと思ひます。

わが街知っとこ!

小河原園芸 編

所在地：広田2811-1

市内で頑張る企業や事業者の皆さんを、市長が訪問し意見交換をします。ここでは、懇談の一部を紹介します。

市長のオフサイト訪問 ◆ 「小河原園芸」



ハウス内を見学

市長 先日、花組合の創立10周年の記念式典に参加しましたが、花組合の皆さんの、鴻巣の花を盛り上げていきたいという熱意を感じました。私も鴻巣の花を全国にもっとPRしていきたいという思いがありますので、生産者や市民の皆さんと協力して、周知・啓発したいと考えています。

問 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに、鴻巣の花を使っていたら、生産者のやりがいに繋がると思ひます。

答 その件については十分承知してあります。まずはオリンピック・パラリンピックの前年にラグビーワールドカップがあり、熊谷市が会場となっていますので、その際に鴻巣の花を活用できるように願ひます。

問 鴻巣が花の一大生産地ということを知らない市外の方がいるので、どの時季にどういった花を生産しているか等を広く周知した方がよいと思ひます。

答 花のイベントのPR活動は、市内外のさまざまな所で行っており、これから開催されるこのす花まつりにおいても、来場者の皆さんに「花のまちこのす」を知っていただけるようPRしていきたいと思ひます。生産者の皆さんがどのような花を生産しているか等は、今後、花



出荷を待つエリシマム



意見交換した皆さんと記念撮影

組合の皆さんとも協力してPR方法を考えていきたいと思ひます。

問 市外から車で鴻巣を通った際に、ここが鴻巣だと分かるように道路に花を飾ったり、歩道橋に横断幕を掲示すればPRになると思ひます。

答 良いアイデアだと思ひますので、今後検討したいと思ひます。

問 花の生産者にとって物流はとても重要ですが、渋井橋から国道17号線に向かう道路で、一部幅員が狭い箇所があるので整備を進めていただきたいです。

答 その道路はA・1004号線で、幅員が狭い箇所については、今年度で大幹線排水路に架かる橋を架け替える予定です。その後、歩道を整備して拡幅する予定です。ので、もう少しお待ちください。

